

福間館離れ(旧大下舎)
おおしもや

[登録日]令和3年3月22日

松江市美保関町美保関341番地

本通り側 外観



2階窓際に設けられている手摺



本通りと海岸側を繋ぐ
通り土間

◆建築年代：明治30年(1897)
(昭和8年(1933)頃増築)

◆構造：木造2階建

■概要

福間館離れ(旧大下舎)は、古くから海上交通の要所として栄えた美保関の東側に位置しています。大正11年(1922)の美保関芸技検番権利金通帳に大下舎代表の名が残り、半地階の部分には小舟が入ることのできる舟置場跡も残るなど、水夫達をもてなす船宿として使われていたと伝えられています。

明治30年(1897)に本通りに面する本建物を建築し、昭和初期の増築を経て、その後も時代にあわせた設えを施しながら、今も宿泊施設として活用されています。

木造2階建てで、本通りに面して建つ東棟と、海岸側に建つ西棟の二棟が中庭を介し一体となっており、玄関を入ると通り土間が海側まで通り抜けています。本通り側の外観は、軒庇が意匠された持送りで深めに出され、2階の窓には手摺が設けられ、建築当時の姿をとどめ往時の船宿の風情を醸し出しています。みなとまちとして栄えてきた美保関の歴史を語る貴重な建物です。

位置図



【市登録歴史的建造物】
福間館離れ(旧大下舎)

海岸側 外観



舟置場跡